

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県知多市北浜町16番地 氏 名 サントリー知多蒸溜所株式会社 代表取締役社長 澄美川 寿夫 電話番号 0562-32-6351	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	知多蒸溜所
事業場の所在地	愛知県知多市北浜町16番地
計画期間	2020年4月 ～ 2021年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	10:飲料・たばこ・飼料製造(1024 蒸留酒・混成酒製造業)
②事業の規模	資本金 1億円
③従業員数	41名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	グレンウィスキー及びアルコールの製造業 蒸留工程→A 塔排液→固液分離→植物残さ→産業廃棄物焼却炉→焼却灰(売却) →B 塔排液→排水処理→汚泥脱水設備→汚泥→肥料製造業者に引き取り 産業廃棄物処分業 中味入り食品→破碎・選別→廃プラスチック類・金属くず・紙くず(売却) →廃酸・廃アルカリ→排水処理 動植物残渣→焼却→灰(売却)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 社長 環境推進責任者（産業廃棄物処理統括責任者） 工務部 総務部 生産部 申請・届出等、マニフェスト管理、産業廃棄物処理施設技術管理者 マニフェスト管理 産業廃棄物施設運転管理、マニフェスト管理			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ、植物残さ、汚泥、燃え殻、廃油、金属くず等種類に分けて保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同様に実施。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 排水処理の余剰汚泥は、脱水処理後発酵肥料原料として再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も同様に再利用を行う		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 蒸留工程から発生した植物残渣は、廃棄物焼却炉ボイラの燃料として熱回収し、燃焼後の灰は、肥料として販売している。 余剰汚泥は、脱水処理後発酵肥料原料として利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も同様な処理を行う		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

項目			産業廃棄物の種類								
			植物残さ (蒸留粕)	汚泥(排水処理)	廃プラスチック	植物残さ	ガラスくず	廃油	混合物	金属くず	PCB
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	①現状	排出量	40,831T	5,784T	13T	21T	1T	1T	8T		19T
	②計画(目標)	排出量	80,000T	12,000T	14T	30T	1T	1T	15T	0T	10T
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	①現状	再生利用量									
	②計画(目標)	再生利用量									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状	熱回収処理量	40,795T								
		中間処理量		5,696T							
	②計画(目標)	熱回収処理量	80,000T								
		中間処理量		12,000T							
自ら行う産業廃棄物の処分又は海洋投入処分に 関する事項	①現状	埋立処分量									
	②計画(目標)	埋立処分量									
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状	全処理委託量	36T	329T	13T	21T	1T	1T	8T	0T	19T
		優良業者委託量	36T			21T					
		再生利用者委託量	36T	329T	13T	21T		1T	8T	0T	0T
		認定熱回収業者委託量									
		認定以外熱回収業者委託量									
	②計画(目標)	全処理委託量	30T	700T	14T	30T	1T	1T	15T	0T	10T
		優良業者委託量	30T			30T					
		再生利用者委託量	30T	700T	14T	30T		1T	15T	0T	0T
		認定熱回収業者委託量									
		認定以外熱回収業者委託量									

合計

46678T

92071T

0T

0T

40795T

5696T

80000T

12000T

0T

0T

428T

57T

408T

0T

0T

801T

60T

790T

0T

0T